

2025 年度 第 1 回神戸市障害者施策推進協議会 議事要旨

日時：2025 年 6 月 16 日（月）14:00～15:30

場所：神戸市役所 1 号館 14 階 大会議室

○議題

神戸市障がい者生活実態調査の実施について（資料 3）

→事務局より説明後、協議会で承認

【主な意見】

- ・調査票のアンケート項目について、検討委員会や本協議会で出た意見を柔軟に反映していただきたい。

○報告

- （1）日中サービス支援型グループホームの整備運営事業者の公募の結果（資料 4）
- （2）障害者の就労支援（多様な働き方の推進）（資料 5）
- （3）医療型短期入所の受け入れ体制強化（資料 6）
- （4）震災 30 年を踏まえた災害対応力の向上（災害時要援護者支援の推進）（資料 7）
- （5）発達相談支援体制の充実（「こべっこ発達専門チーム」の活動地域の拡充）（資料 8）
- （6）特別支援教育の充実（資料 9）

→事務局より説明

【主な意見】

- （1）障害者の就労支援（多様な働き方の推進）（資料 5）
 - ・神戸市は全国・県と比べて障がい者の法定雇用率達成企業の割合が低いため、具体的な数値目標を設定し取り組んでもらいたい。
 - ・行政からの働きかけだけではなく、障がい者雇用の実績がある企業が未達成の企業とつながり、これまでの取り組みや工夫、経験から、助言してもらうことも有効であると考えている。
- （2）医療型短期入所の受け入れ体制強化（資料 6）
 - ・神戸市による医療型短期入所支援の補助金は非常にありがたいが、看護師の不足により受け入れが困難な現状がある。そのため、潜在看護師を対象とした研修を行うなど、人材確保にも取り組んでもらいたい。
 - ・受け入れ体制の強化を検討する際には、医療型短期入所の改善だけではなく、福祉型短期入所の強化も考えていただきたい。
 - ・看護師が確保できるのであれば、地域生活支援拠点での受け入れも選択肢かもしれない。
 - ・医療的ケアや夜間対応が可能な訪問介護・訪問看護事業者の情報を一元的に把握し、提供できる窓口を整備してもらいたい。
 - ・緊急受入れ支援補助金は、医療型短期入所の事業所が減少していることも踏まえ、支給要件の緩和をお願いしたい。
- （3）震災 30 年を踏まえた災害対応力の向上（災害時要援護者支援の推進）（資料 7）
 - ・福祉避難所での電源確保は重要であるため、ポータブル電源だけではなく、長期的な電源確保を

前提とした設備整備を検討してもらいたい。

- ・ 障がいのある人は福祉避難所があることは知っているが、実際に避難所に行くことや、避難先の職員と顔合わせもできていない。
- ・ 令和３年に、国が指定福祉避難所で受け入れる対象者を事前に特定するよう、福祉避難所の確保・運営ガイドラインを改定した。国の方針に合わせて、地域の福祉専門職等と連携し、施設の確認や訓練を実施できる仕組みを構築してもらいたい。
- ・ 福祉避難所への避難について、その判断が、福祉や医療に通じた方にしっかりと判断してもらえるのかというのが、本人や家族が心配されるところだと思う。
- ・ 一次避難場所への避難が困難な障がい者もいるため、福祉避難所や病院への直接避難の可能性も検討してもらいたい。
- ・ 現状では、福祉避難所が「名ばかり」になっている印象がある。福祉避難所の運営責任者や開設体制が不明瞭であるため、事前の周知と準備を行政主導で進めてもらいたい。
- ・ 基幹福祉避難所は特別養護老人ホームばかりのため、障害者施設の指定も検討してもらいたい。また、障がい者用の施設の電源・水・トイレ等の支援体制整備を年次計画で進めてもらいたい。
- ・ 災害対策基本法の改正で、福祉サービスの提供が明記されたことに大変、期待している。

（４）特別支援教育の充実（資料９）

- ・ 特別支援教育相談センター等の充実において新たに立ち上げる学校支援チームには、スクールソーシャルワーカーのような福祉と教育の両面に通じた専門職に関与してもらいたい。